

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.35 2024年 5月25日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

フォーラム青森議員団第3回学習会

事務局長・原子秀夫

フォーラム青森議員団は、5月19日ハートピアアローフクを会場に、第3回勉強会を開催しました。今回は遠路はるばる東京から農業問題に精通した講師をお招きして講演と意見交換を行う趣向であることから、平和労組にも参加を呼び掛けて関心のある労組役員も参加して約30名で行われました。

はじめに、議員団の赤平（弘前市議）事務局長の司会で開会し、藤田議員団団長から挨拶を受けました。この中で団長は自民党の裏金問題で国民の怒りが高まっているが、岸田政権は自身が総理を続けるために、9月の自民党総裁選前に解散総選挙に打って出るといっているとして、通常国会での解散の確立は24・8%???だと自身の予測を述べました。

その後、講演に入りましたが、今回は「改正基本法と日本農業の展開方向」く食料安全保障は担保されるのか」と題して東京大学名誉教授 谷口信和先生から約1時間わたって講演を頂きました。

特に強調された点を概略すると、日本農業の総産出額はここ10年ほどで増加しているが、新規就

農者数は2022年に5万人を割り込み過去最低、また作付面積も同年394・7haで過去最低、さらに耕地利用率も91・3%と過去最低にまで低下しており、日本農業は長期的な見通しが持てない中で就農・営農意欲の低下に歯止めがきかない状況にある。一方で、世界に目を向けてみると新自由主義的なグローバル化によって二つの戦争は食糧危機と結びついている。これは、世界経済を巡る覇権争いがアメリカから中国（インド）などへのシフトと密接不可分である。食料安全保障問題の背景を掘り下げると、世界の穀物生産は穀物需要を上回っているが、2021～2023年の食糧危機は穀物期末在庫率で中国が70%超と異常に高いため、世界全体では30%程度となり高い水準にある。しかし、中国以外の世界で15%を割り込む水準。世界の穀物市場は中国の動向に左右され、その度合いが強まっている。人口大国の中国は食糧安全保障に敏感（国内生産と備蓄十多様な輸入先）重視ヘシフト。日本も中国に学ぶ必要があるが、政府も食料輸入依存体質を転



換する気概は全く感じられない。今回の改正基本法を見ても食料安全保障に焦点を当てた改正と説明しているが、その内実は農業・農村対策はほぼ現行法を踏襲している。また、食料安全保障の観点から行った食料自給率などの認知度調査では40%程度にとどまり、自給率向上の重要性でも65%と決して高くない。

こうした状況を打開するためには、①消費者がアクセスできる食料価格（所得水準に依存する）と農業者の再生産保障価格（所得補償価格）は一致する保証はない。②食料価格と農業資材価格の高騰は市場価格と所得水準との見合いで緊急的な対応が求められるべきもの。③農業生産者の所得確保は第一義的には価格に消費者負担ではなく、財政支出に基づく直接支払いによって行われるべき。

④日本の場合、多面的機能支払い（直接支払い）が農業者の所得として認識されていないのは、条件不利地域政策（中山間地域直接支

払）の不完全性に問題がある。⑤短期的に交渉力による価格形成…中長期的に直接支払いによる所得補償

こうしたことは、EUの政策にまなぶべきである。また、日本農業の課題を改善している先進的な地域の農協などに学びあるべき食と農の姿を追求していくことが必要である、と講演を結んでいました。

これに対して会場から、多くの質問が寄せされましたが、時間的な制約もあるなかで熱心な意見交換が行われました。最後に、冒頭のあいさつで解散総選挙が取りざたされていることから、青森県第一区升田世喜男及び三区岡田華子の予定候補者から選挙戦への決意が述べられ、会場全体で闘うことを確認して終了しました。



使用済み核燃料搬入反対現地集会に101名



基調提起をする栗橋事務局長（中央）



むつ市内をデモ行進

5月19日（日）、むつ市来さまい館イベントホールにおいて「使用済み核燃料搬入反対現地集会」が開催され、県内外から101名が参加しました。

現地実行委員会の栗橋事務局長が基調提起をし、最初に搬入される予定の柏崎から現地報告がありました。

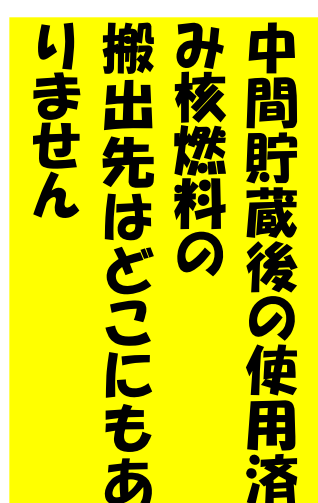
立憲の杉浦市議は、むつ市議会において「佐藤さん・工藤さん（ともに共産）といっしょに、皆さんの思いを伝えていく」と述べていました。

そして、デモ行進の際には、人通りが少ない中でも、お店や自宅からわざわざ出てきて、拍手や声援をいただくなど、最近にない体験をしました。

資料が多く、掲載できなかったことをお詫びいたします。（佐藤康弘）



杉浦むつ市議会議員



【集会プログラム】

■主催者代表あいさつ

使用済み核燃料搬入反対現地実行委員会
実行委員長 中嶋寿樹

■基調提起

使用済み核燃料搬入反対現地実行委員会
事務局長 栗橋伸夫

■連帯のあいさつ

核のゴミから未来を守る青森県民の会
共同代表 古村一雄

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団
（メッセージ代読）伊藤和子

柏崎刈羽市民ネットワーク

代表 星野幸彦

柏崎刈羽原発反対地元三団体

代表 武本和幸

社会民主党青森県連合

代表 今村 修

日本共産党青森県委員会

青森県議団長 安藤はるみ

立憲民主党むつ下北支部

代表 杉浦弘樹

■集会宣言（掲載略）



星野柏崎市議会議員



武本刈羽村議会議員



搬入ハンタ〜イ